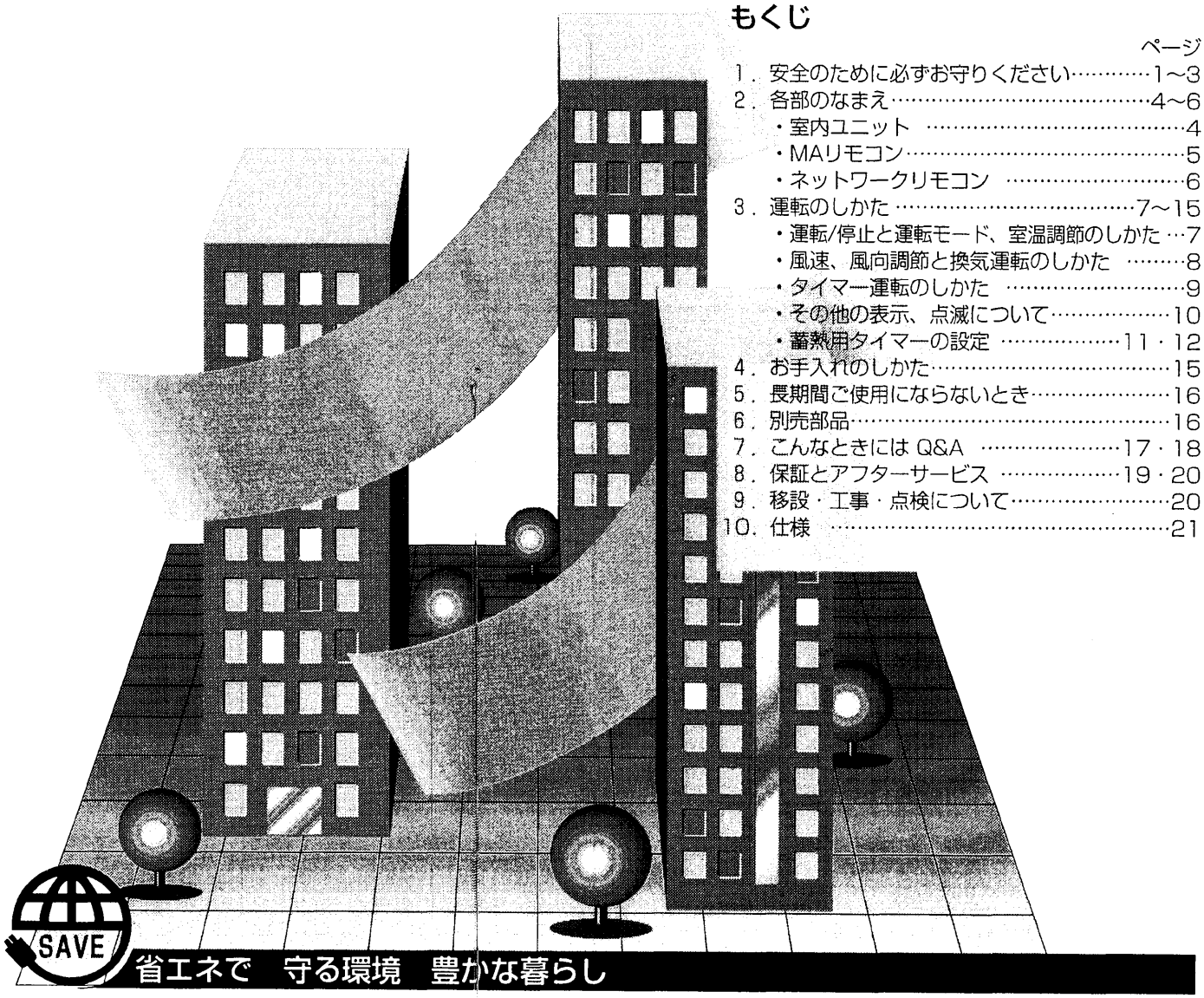
MITSUBISHI

三菱電機フリープランシステム

躯体蓄熱用室内ユニット
PLFY-J・HMD-C-KT
PEFY-J・M-C-KT

取扱説明書



もくじ

ページ
1．安全のために必ずお守りください……1～3
2．各部のなまえ……4～6
・室内ユニット ……4
・MAリモコン……5
・ネットワークリモコン ……6
3．運転のしかた ……7～15
・運転/停止と運転モード、室温調節のしかた …7
・風速、風向調節と換気運転のしかた ……8
・タイマー運転のしかた ……9
・その他の表示、点滅について……10
・蓄熱用タイマーの設定 ……11・12
4．お手入れのしかた……15
5．長期間ご使用にならないとき……16
6．別売部品……16
7．こんなときには Q&A ……17・18
8．保証とアフターサービス ……19・20
9．移設・工事・点検について……20
10．仕様 ……21

このたびは三菱電機フリープランシステムをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 保証書は、『お買上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と『据付工事説明書』及び『保証書』をお渡しください。
- お客さまご自身では、据付・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

1．安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告 、⚠注意 の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

■“図記号”の意味は次のとおりです。

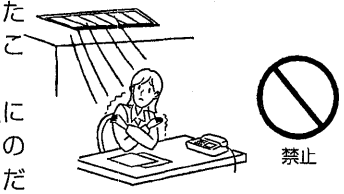
	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	回転物に注意してください。 （室外ユニット本体に表示してあります。）
	絶対に水を掛けないでください。
	絶対に濡れた手で触らないでください。

●ご使用時

⚠警告

長時間直接お肌に風をあてない

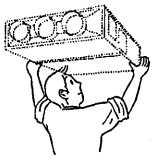
長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



禁止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

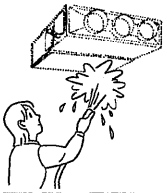
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。



分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

エアコン及びリモコンを水洗いしない

ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になることがあります。



水濡れ禁止

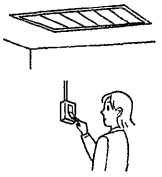
濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

濡れ手禁止

薬品消毒のときにはエアコンを停止する

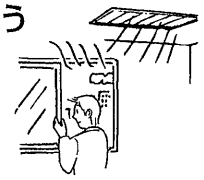
薬品が発散し危険です。



エアコン停止

薬品消毒のあとには、必ず換気をし、4～5時間送風運転を行う

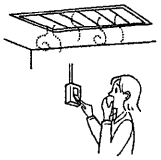
エアコンに付着した薬品が吹き出す恐れがあり危険です。



換気・送風運転

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断機がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

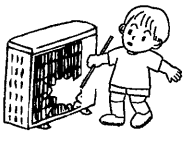


電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！

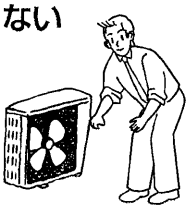
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。



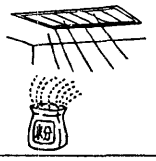
分解禁止

●ご使用時

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

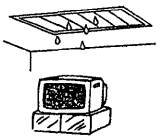
小麦粉、うどん粉、そば粉などの粉はフィルター及び熱交換器を目詰まりさせ、故障の原因となることがあります。



禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

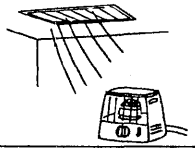
冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になることがあります。



設置禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼の原因になることがあります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。



設置禁止

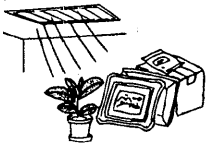
室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になることがあります。

禁止

特殊用途に使用しない

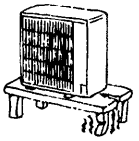
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になることがあります。



使用禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

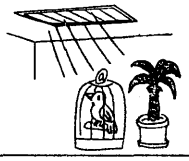
ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になることがあります。



放置禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

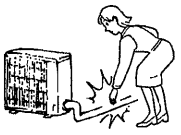
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



設置禁止

運転中に冷媒配管に触れない

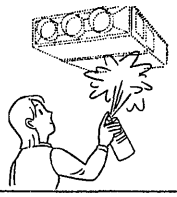
素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になることがあります。



使用禁止

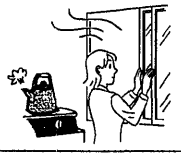
清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。

電源を切る

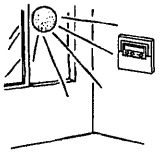
燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になることがあります。



換気

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。



据付禁止

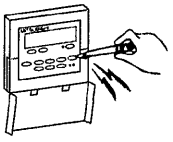
フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になることがあります。

禁止

リモコンをとがった物で押さない。

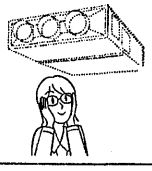
感電、故障の原因となることがあります。



禁止

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。



保護具着用

冷房躯体蓄熱運転中に換気はしない

冷房躯体蓄熱時、高温多湿な空気が侵入すると、蓄熱効率の低下だけでなく、天井面および床面で結露の恐れがあります。

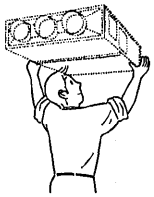
禁止

●据付け時

⚠警告

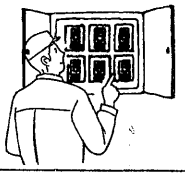
お客様ご自身で据付け・移動・再据付けはしない

工事に不備があると、ユニットの落下によるケガ・感電・火災・水漏れの原因になることがあります。お買上げの販売店にご依頼ください。



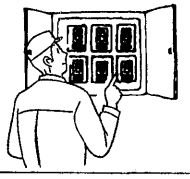
電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



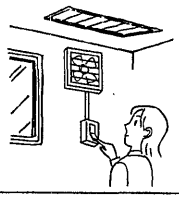
漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になることがあります。



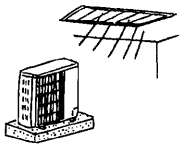
小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行う

万一冷媒が洩れても限界濃度を越えないよう換気対策が必要です。冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

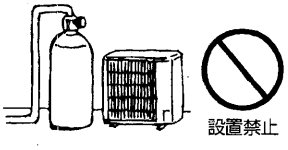


使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

可燃性ガスの洩れる恐れのある場所へは据付けない

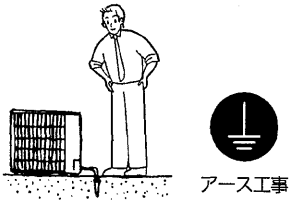
ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。



⚠注意

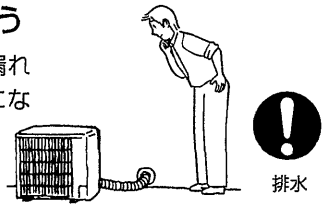
アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になることがあります。



人の出入りが多いフロア、最下階、最上階には躯体蓄熱を行わない

夜間でも人の出入りが多いフロアでは、外気侵入により蓄熱効率が低下したり、冷房躯体蓄熱時には結露の原因となります。最下階・最上階では躯体蓄熱の効果が半減し、特に最上階では屋根面を通じて外気と接するため蓄熱効率が低下します。

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が洩れたときの処置）

万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

本体が腐食しガス洩れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

- ●可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- ●粉や蒸気が多量に発生するところ
- ●酢（酢酸）を多量に使用するところ
- ●油煙がたちこめるところ
- ●温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- ●海浜地区など塩分の多いところ
- ●積雪により室外ユニットが塞がれるところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

2. 各部のなまえ

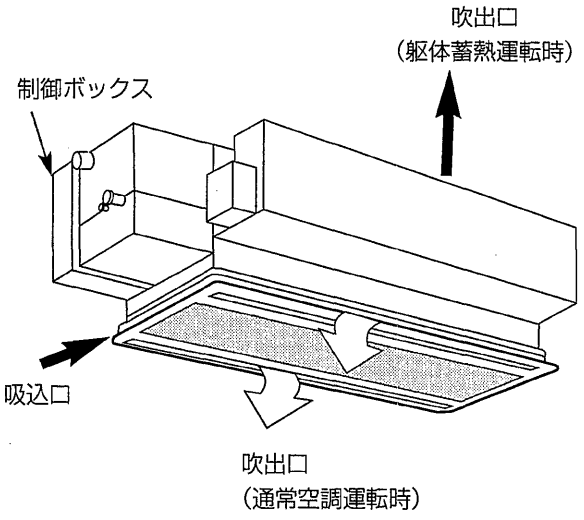
室内ユニット

■ユニットの形態により、装備している機種が異なります。

	PLFY-J・HMD-C-KT形	PEFY-J45~160M-C-KT形
風速	4段階	2段階
上下風向調整	可	−
左右風向調整	−	−
ロングライフフィルター	標準装備	別売
フィルタークリーニングサイン積算時間	2500時間	−

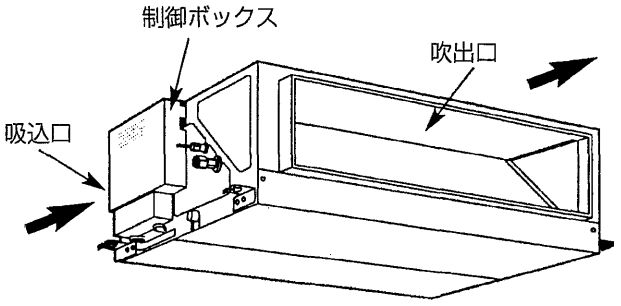
PLFY-J・HMD-C-KT形

天井埋込直吹き形

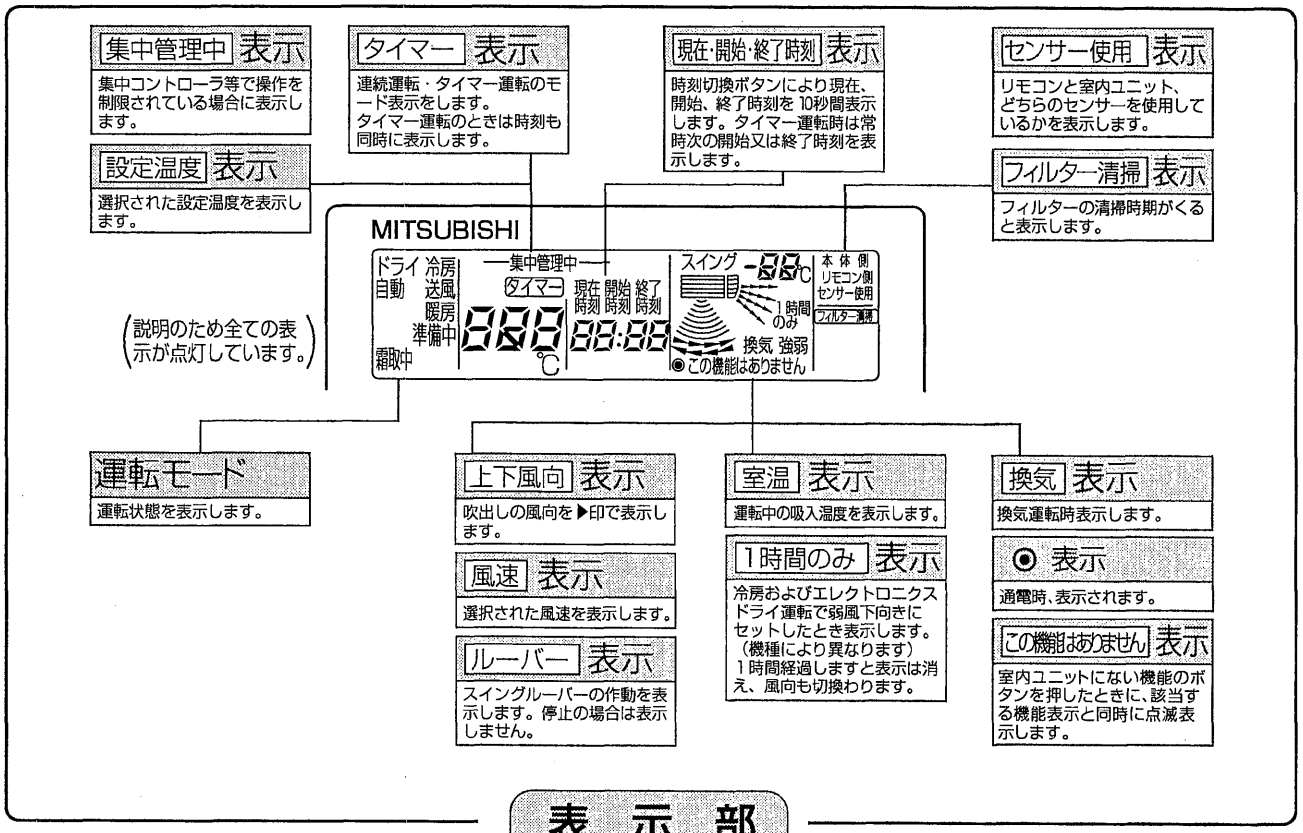


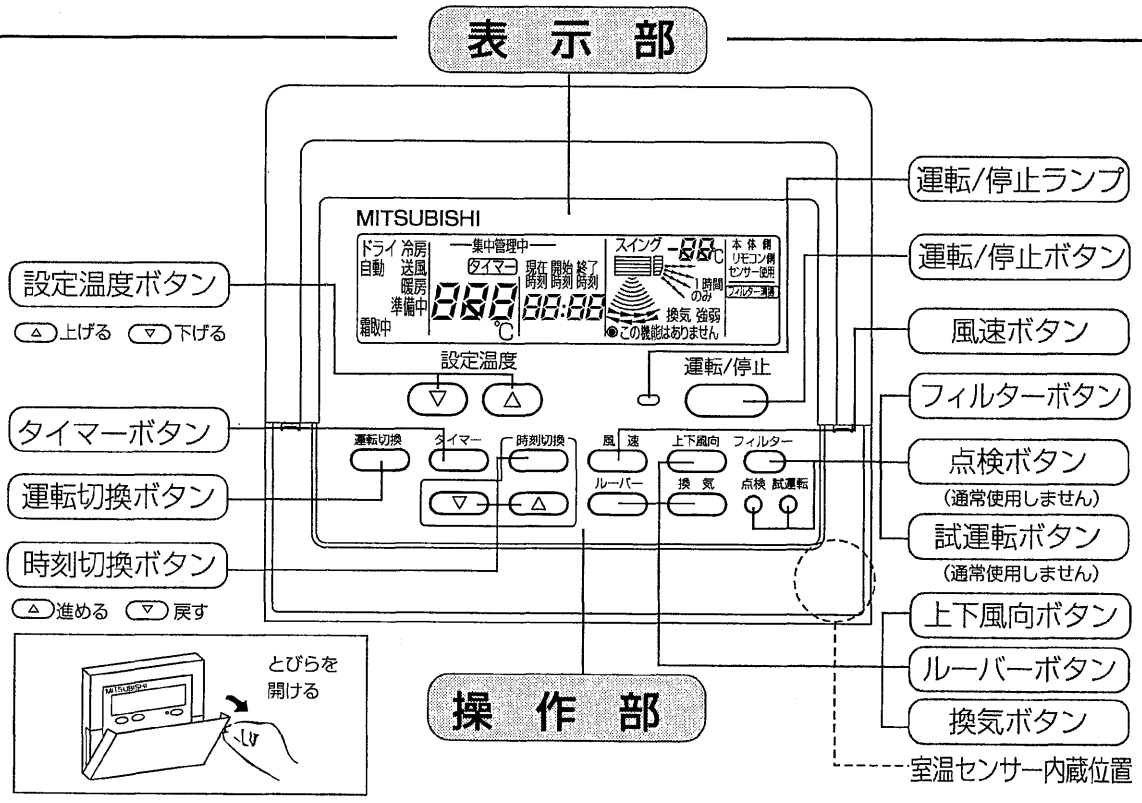
PEFY-J・M-C-KT形

天井埋込ダクト形



MAリモコン

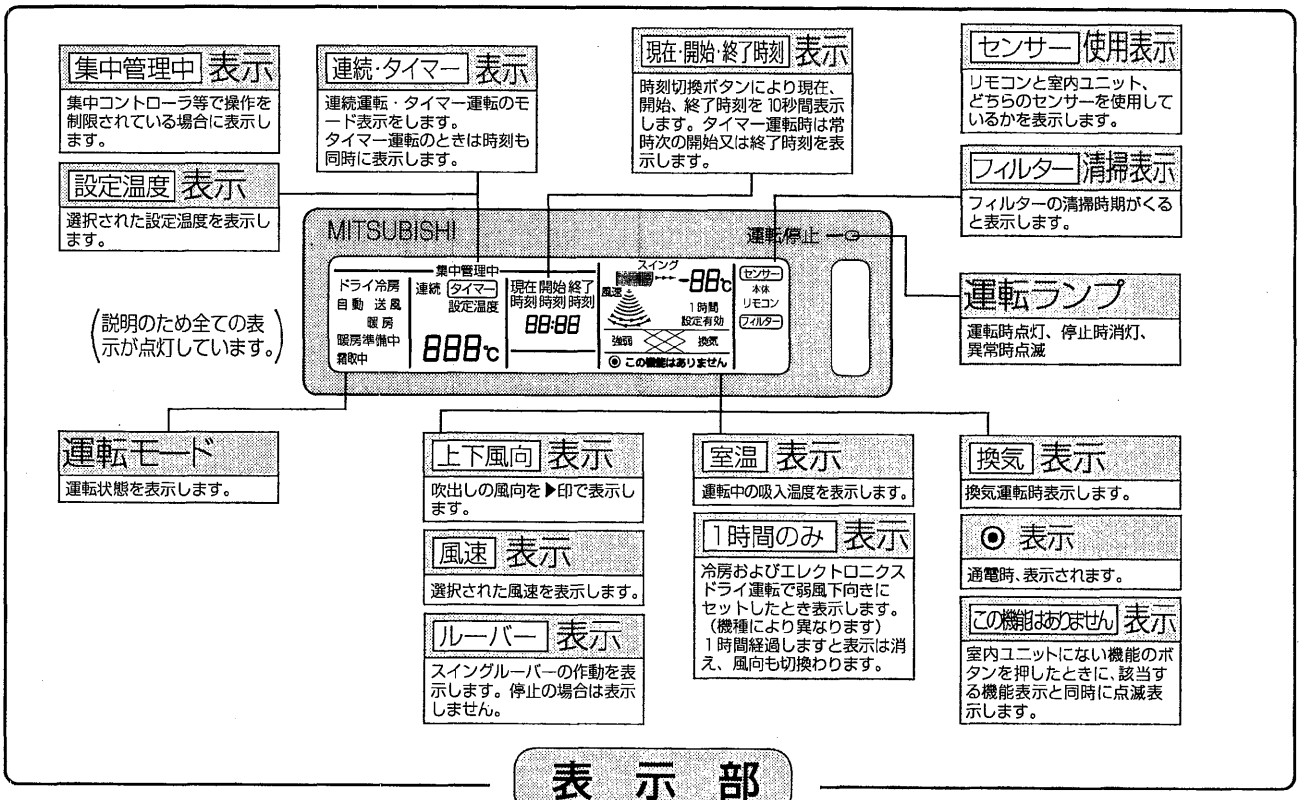


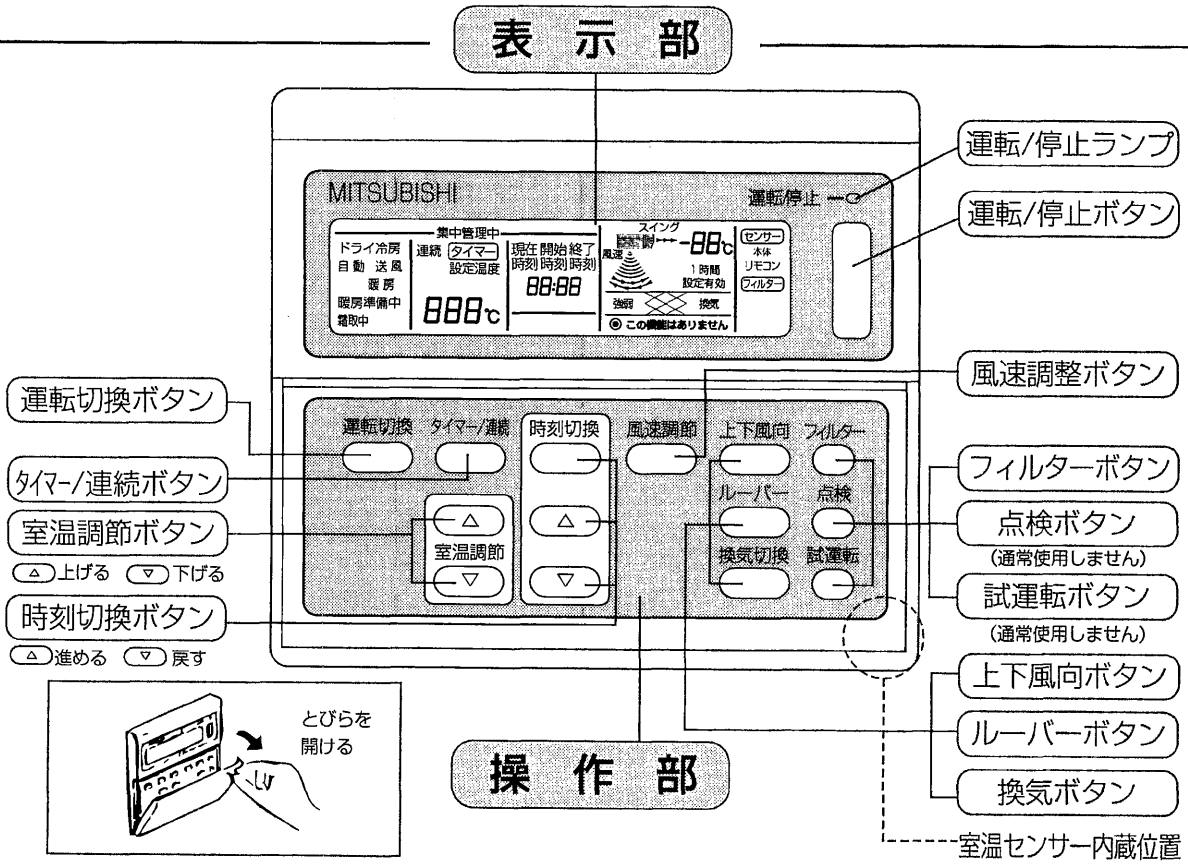


お知らせ

- ●操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には"この機能はありません"と点滅表示が出ます。
- ●1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。

ネットワークリモコン



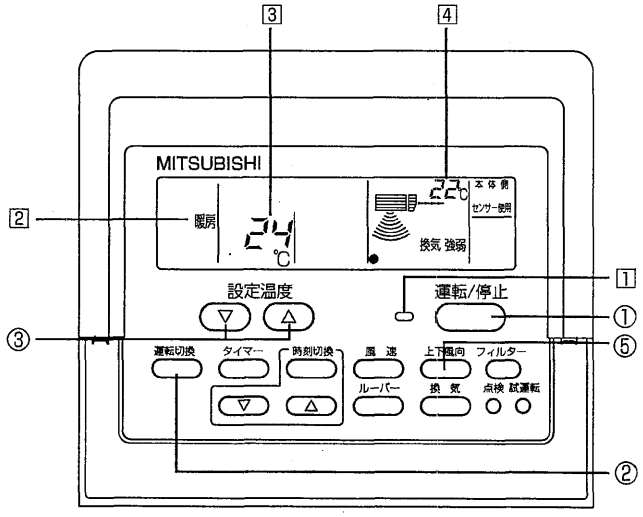


お知らせ

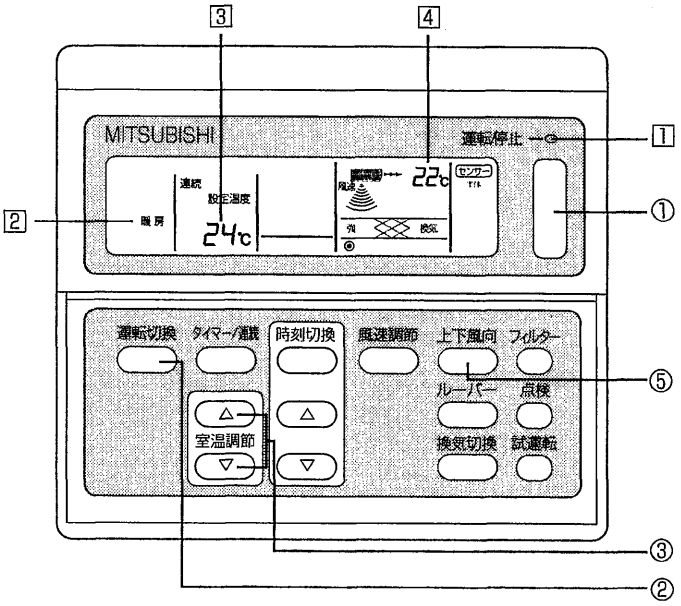
- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には“この機能はありません”と点滅表示が出ます。
- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。

3. 運転のしかた

(1) 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた



MAリモコン



ネットワークリモコン

運転を開始するとき

■ / （運転／停止）ボタン①を押す。
- ●運転ランプ 1 と表示部が点灯します。

お知らせ
- ●再運転は、下記運転内容となります。

	リモコン設定内容		
運転モード	前回運転モード		
温度設定	前回設定温度		
風　速	前回設定風速		
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
		暖房	前回設定
		送風・換気	水平吹出し

運転を停止するとき

■ / （運転／停止）ボタン①を押す。
- ●運転ランプ 1 と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

■運転中に (運転切換) ボタン②を押す。
- ●1回押すごとに設定が切換わります。
  運転モードが 2 に表示されます。

→ 冷房 → ドライ → 送風 → 自動※1 → 暖房※1 →

- ●躯体蓄熱時の運転モードが 2 に表示されます。

お知らせ
- ●室外ユニットの機種により、自動・暖房機能がない場合があります。
- ●躯体蓄熱機種は、躯体蓄熱時に運転モードの選択はできません。

設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき･･･ (▽) 室温調節ボタン③を押す。
■室温を上げたいとき･･･ (△) 室温調節ボタン③を押す。
- ●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
  設定温度が 3 に表示されます。
- ●設定できる指定温度は次の通りです。

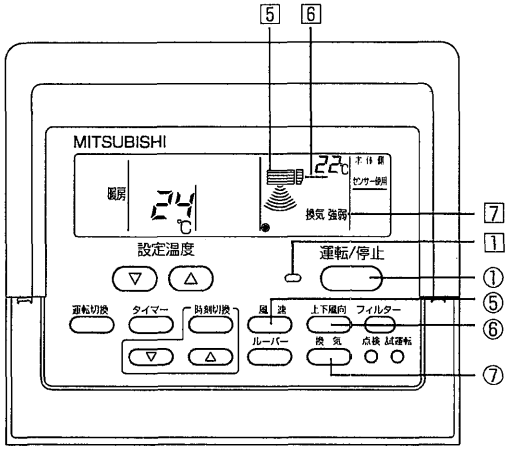
冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

室温表示

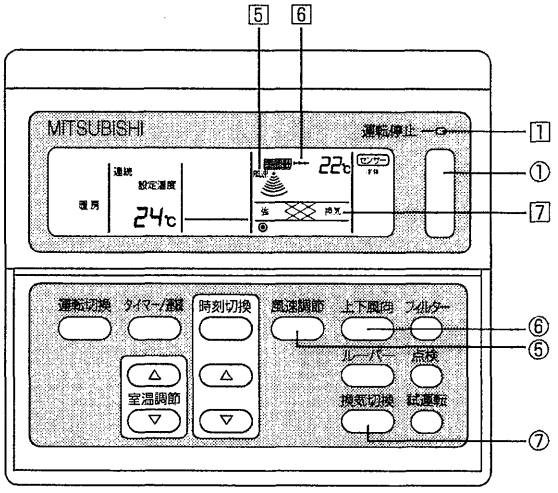
運転中の吸込温度が 4 に表示されます。
躯体蓄熱時の室温が 4 に表示されます。

お知らせ
- ●表示範囲は8~39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
- ●複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット（親機）の内容が表示されます。
- ●室温センサ位置は、“本体”と“リモコン”が選択できます。初期設定は、“本体”となっております。室温センサ位置を“リモコン”に変更される場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- ●躯体蓄熱機種は、躯体蓄熱時に設定温度の変更はできません。

(2) 風速・風向調節と換気運転のしかた



MAリモコン



ネットワークリモコン

風速を変えたいとき

■運転中に（風 速）/（風量調整）ボタン⑤を押す。

●1回押すごとに以下のように設定が切換わります。
風速が 5 に表示されます。

●設定できる風速は次の通りです。

風速	リモコン表示
4段階機種	(弱) → (中2) → (中1) → (強)
2段階機種	(弱) → (強)
1段階機種	(強)

※機種により設定できる風速が異なります。
（詳しくは4頁を参照ください）

お知らせ

●このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
1. “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
2. 暖房運転直後（モード切換待機中）
3. 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
4. ドライ運転時
5. 躯体蓄熱運転時

●躯体蓄熱機種は、躯体蓄熱時に風速の設定はできません。

上下風向を変えたいとき

■運転中に（上下風向）ボタン⑥を押す。

●1回押すごとに以下のように設定が切換わります。
上下風向が 6 に表示されます。

●設定できる風向は次の通りです。

表 示		スイング	設定1（水平0°）	設定2（水平45°）	設定3（水平60°）	設定4（水平85°）
運転モード	風 速					
暖房・送風	強·中1·中2·弱	スイング	水平吹出し	下吹出し 45°	下吹出し 60°	下吹出し 85°
冷房	強					
	中1·中2·弱	スイング	水平吹出し	下吹出し45°	下吹出し60°	下吹出し85°
ドライ	設定不可			※1時間後に水平吹出し		
運転モードを変更したときの上下風向設定		–	冷房 ドライ 送風運転	–	–	暖房運転

※1時間経過すると自動的に水平吹出しにもどります。
※スイング作動時のリモコン表示と上下風向ベーンの位置は同調しません。
※機種により風向機能がない場合があります。（詳しくは4頁を参照ください）

お知らせ

●このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
1. “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
2. 暖房運転直後（モード切換待機中）
3. 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
4. 躯体蓄熱運転時

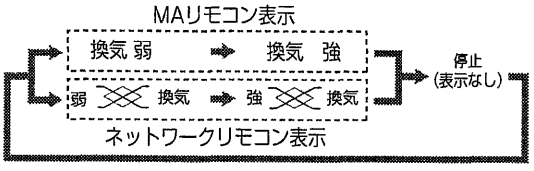
●躯体蓄熱機種は、躯体蓄熱時に風向きの設定はできません。

換気運転のしかた

●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき
室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。
換気運転が 7 に表示されます。

●室内ユニットを停止中に換気装置のみを運転するとき
■停止中に（換 気）/（換気風量）ボタン⑦を押す。
運転ランプ 1 と換気運転が 7 に表示されます。

●換気操作の風速を変えたいとき
■（換 気）/（換気風量）ボタン⑦を押す。
1回押すごとに以下のように切換わります。



お知らせ

●室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。
●（換 気）/（換気風量）ボタン⑦を押したとき、この機能はありません の表示が点滅する場合は、換気装置が連動接続されていません。
●躯体蓄熱機種は、躯体蓄熱時、換気装置が連動接続されていても、換気運転を行いません。

(3) タイマー運転のしかた

●一般空調時間内で設定してください。

躯体蓄熱時間内にタイマー運転の設定はしないでください。

●タイマー運転には次の３つの方法があります。

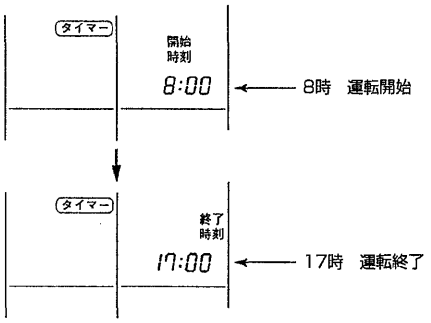
1. 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行う
2. 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行う
3. 入・切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行う

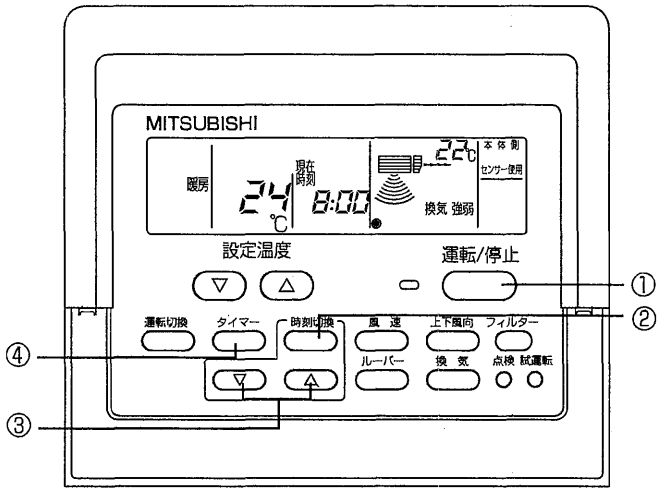
●タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。

●タイマー運転中（タイマーの表示がされているとき）は時刻設定・変更はできません。

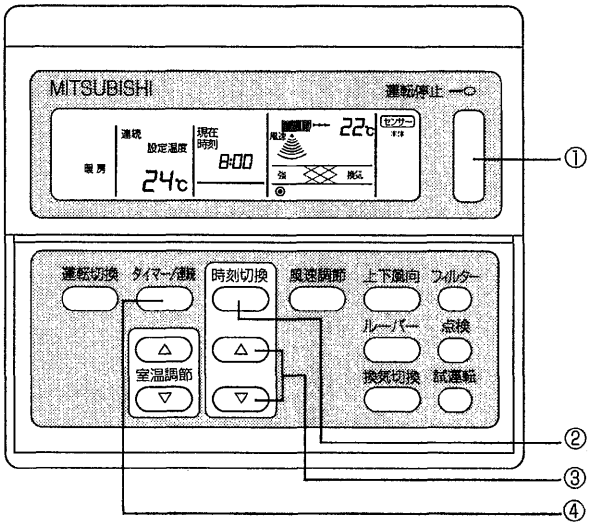
●タイマー時刻設定は10分単位です。

タイマー設定表示例





MAリモコン



ネットワークリモコン

現在時刻の設定を行うとき

■（時刻切換）ボタン②を押し、表示を 現在時刻 にする。

●1回押すごとに以下のように切換わります。

現在時刻 ➡ 開始時刻 ➡ 終了時刻 ➡ 表示なし

■ （△）ボタン③を1回押すごとに1分進み、
（▽）ボタン③を1回押すごとに1分戻る。

●ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。

●時刻は1分単位→10分単位→時間単位の順に変化します。

●設定終了後約10秒でリモコンの表示は消えます。

入タイマー運転を行うとき

■（時刻切換）ボタン②を押し、現在時刻 を確認し、表示を 開始時刻 にする。

■（△）または（▽）ボタン③を押して開始時刻を設定する。

■ 終了時刻 を --：-- の表示に設定する。

● --：-- の表示は23：50と0：00の間に表示されます。

■（タイマー）/（タイマー/連続）ボタン④を押し、表示を タイマー にする。

●1回押すごとに 消灯 ⇄ 連続 ⇄ タイマー に切換わります。

切タイマー運転を行うとき

■（時刻切換）ボタン②を押し、現在時刻 を確認し、表示を 終了時刻 にする。

■（△）または（▽）ボタン③を押して終了時刻を設定する。

■ 開始時刻 を --：-- の表示に設定する。

■（タイマー）/（タイマー/連続）ボタン④を押し、表示を タイマー にする。

入・切タイマー運転を行うとき

■入タイマー・切タイマー両方の設定をする。

■（タイマー）/（タイマー/連続）ボタン④を押し、表示を タイマー にする。

タイマー運転を解除するとき

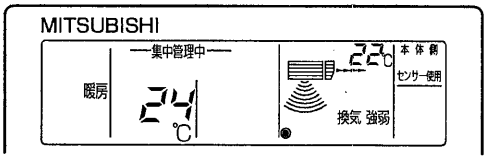
■（タイマー）/（タイマー/連続）ボタンを押してリモコンの表示を タイマー ⇄ 消灯/ 連 続 にしてください。

お知らせ

●タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

(4) その他の表示・点滅について

集中管理中表示

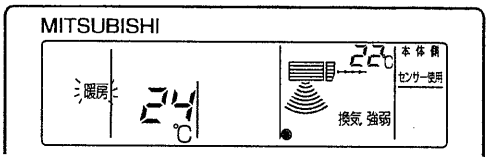


●集中コントローラ等で、操作を制限しているときに表示します。
制限される操作は以下の通りです。
・運転／停止
・運転モード
・設定温度

お知らせ

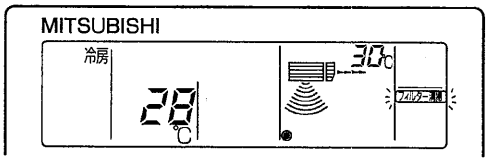
●個々に制限される場合もあります。
●氷蓄熱機種は、夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。
●躯体蓄熱機種は、夜間蓄熱運転している場合に表示します。

運転モードの点滅



●点滅のままの場合
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。
他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
●点滅した後モードが切換わる場合
集中コントローラ等で、運転モードの操作をシーズン毎に制限しているときに表示します。
他の運転モードをご使用ください。

フィルター清掃の点滅

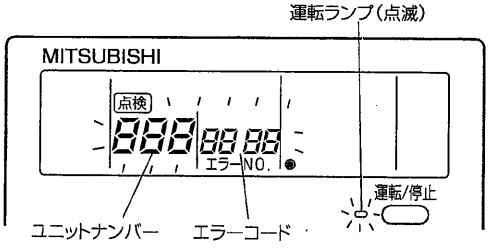


●フィルター清掃時期をお知らせします。
フィルター清掃を実施してください。
●**“フィルター清掃”表示をリセットする場合**
フィルター清掃後、(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

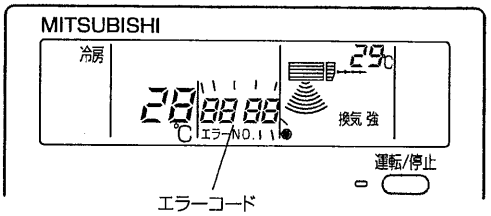
お知らせ

●2台以上の形で異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります。代表機種（親機）の清掃時期が来ると“フィルター”表示されます。また、フィルター表示を消すと、全ての積算時間がリセットされます。
●“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
●フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。

エラーコードの点滅



●「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットナンバー、エラーコードをメモして空調機の電源を切り、サービスをお申しつけください。



●「エラーコード」のみが点滅している場合
（運転ランプは点灯したまま）
空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。

(5) 蓄熱用タイマーの設定

●氷蓄熱用タイマーキットの操作方法　[デイリータイマー操作・表示部の名前とはたらき]

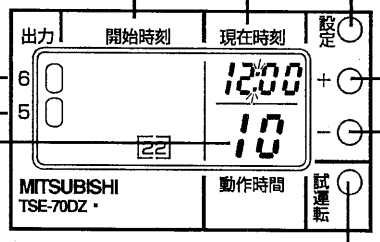
【蓄冷熱開始時刻表示】
・蓄冷熱開始時刻を表示しています。
標準では22:00に蓄冷熱運転を開始します。
・蓄冷熱開始時刻は毎正時です。

【ユニット運転状態表示】
・ユニットの運転状態を表示しています。
空調運転中６が，蓄冷熱運転中５が点灯します。

空調運転中	蓄冷熱運転中
6 ●	6
5	5 ●

【蓄冷熱時間表示】
・蓄冷熱運転の時間（幅）を表示しています。
標準では10時間(22:00～8:00)の蓄冷熱運転を行います。

【現在時刻表示】
・現在時刻を0:00～23:59の24時間制で表示しています。



設定ボタン
・画面の切替えと設定内容の確認を行います。
・運転画面にて約1秒間押し続けた場合は、現在時刻の設定画面への切替を行います。
・"−"ボタンと同時に約2秒間押し続けた場合は、"蓄冷熱時間/蓄冷熱開始時刻設定"画面への切替を行います。

＋ボタン
・数値の加算変更と蓄冷熱開始時刻設定画面での時刻設定（[ ] マークを点灯）を行います。

−ボタン
・数値の減算変更と蓄冷熱開始時刻設定画面での時刻設定解除（[ ] マークを消灯）を行います。

試運転ボタン
・約１秒間押し続けると、手動で蓄冷熱運転の入／切の切替ができます。
・押す度に蓄冷熱運転の入／切が反転します。
・蓄冷熱運転：入で放置した場合には、2時間後に蓄冷熱運転は切になります。
・ボタンを押す時間間隔は１秒以上にしてください。
・手動による操作は一時的なものです。試運転ボタンの操作による手動蓄冷熱運転中でも、蓄冷熱運転の時間（幅）と開始時刻の設定による自動運転を優先して実行します。
・運転画面でのみ有効です。
・**現地で試運転を行う場合は、据付説明書の試運転方法に従ってください。**

⚠注意

- デイリータイマーの出力状態表示が【蓄冷熱運転中】でも、タイマーキット本体の「蓄冷熱強制停止」スイッチが“強制停止”側に倒れている場合は、蓄冷熱運転できません。
- 通常のご使用時には、「蓄冷熱強制停止」スイッチを必ず“通常運転”側に倒してください。

①時刻合わせ

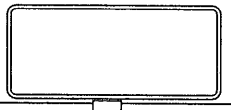
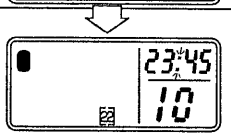
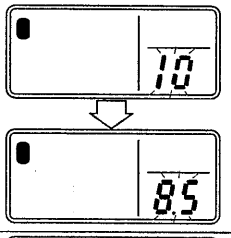
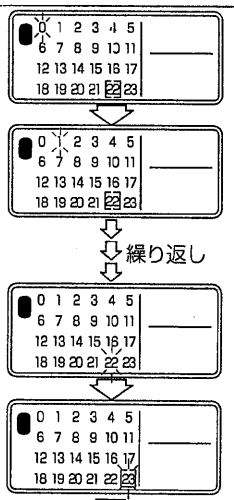
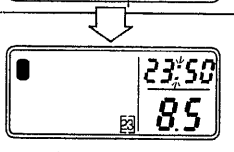
設定項目		ボタン操作	表示内容	備考
現在時刻の確認		画面消灯時はいずれかのボタンを押す		・２４時間以上停電が続くと全画面を消灯させるため、工場出荷後の初回ボタン操作、または初回電源投入まで画面は消灯しています。 ・いずれかのボタンを押すか、又は電源を投入すると、運転画面を表示します。（画面が消灯していても内蔵電池により動作は継続しています。）
			23:45 10 （運転画面）	・通常ご使用時はこの運転画面が表示されます。 ・ユニットの運転状態、現在時刻、蓄冷熱運転の開始時刻と時間幅が一括表示されています。 ・工場出荷時に現在時刻、蓄冷熱開始時刻および蓄冷熱時間を設定してあります。現在時刻が合っているか確認してください。
現在時刻設定	現在時刻の変更	設定 1秒間押す		・現在時刻を変更する場合は、設定 ボタンを約1秒間押し続けます。
	現在時刻「時」の設定	変更あり → ⊕または⊖ / 変更なし → 設定「時」の確定	12:45	・現在時刻「時」の表示が点滅し、現在時刻以外の表示は消灯します。 ⊕または⊖ボタンで現在の「時」に合わせます。 設定 ボタンを押して現在の「時」を確定します。
	現在時刻「分」の設定	変更あり → ⊕または⊖ / 変更なし → 設定「分」の確定	12:34	・現在時刻「分」の表示が点滅します。 ⊕または⊖ ボタンで現在の「分」に合わせます。 設定 ボタンを押した時点から、時計は０秒スタートします。 【ご注意】⊕または⊖ボタンを押さないで設定ボタンのみ押した場合は、現在時刻の変更はされません。
設定終了		運転状態	12:34 10 （運転画面）	・現在時刻設定の途中で運転画面に戻りたい場合は、設定 ボタンを約5秒間押し続けてください。運転画面に戻ります。 また、設定画面でスイッチを押さずに１分間放置しておいても運転画面に戻ります。

⚠注意

- 蓄冷熱運転の開始時刻、及び蓄冷熱運転時間（幅）は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。
- 蓄冷熱時間帯の標準設定では夜22:00に蓄冷熱運転を開始し、10時間の蓄冷熱運転をおこないます。
  （夜22:00に蓄冷熱運転開始～翌朝8:00に蓄冷熱運転終了）
- 躯体蓄熱機種の場合、蓄冷熱時間帯の標準設定では、夜22:00に蓄冷熱運転を開始し、躯体蓄熱運転を開始するまでの間、蓄冷熱運転を行います。躯体蓄熱運転を行わない場合は、最大8時間、蓄冷熱運転を行います。
- 蓄冷熱運転時間帯はなるべく変更しないほうが、ユニットの性能を最大限に発揮できます。
  やむを得ず設定変更をする必要がある場合のみ、下記要領にて設定し直してください。

- 蓄冷熱運転の設定は、**一日1回のみ**です。
  一日に複数回、開始時刻設定（蓄冷熱開始時刻表示画面に複数個の［ ］マーク付きの数字が表示されている状態）にした場合には、室外ユニットもしくは蓄熱槽ユニットの誤動作の原因となります。
  必ず一日一回のみの蓄冷熱運転開始時刻設定（蓄冷熱開始時刻表示画面に［ ］マーク付きの数字が一つだけ表示されている状態）に設定してください。

②蓄冷熱時間／蓄冷熱開始時刻の設定方法

設定項目	ボタン操作	表示内容	備考
設定時間の確認	画面消灯時はいずれかのボタンを押す		・２４時間以上停電が続くと全画面を消灯させるため、工場出荷後の初回ボタン操作、または初回電源投入まで画面は消灯しています。 ・いずれかのボタンを押すか、または電源を投入すると運転画面を表示します。 （画面が消灯していても内蔵電池により動作は継続しています。）
		 （運転画面）	・通常ご使用時はこの画面が表示されます。 ・ユニットの運転状態、現在時刻、蓄冷熱運転の開始時刻と時間幅が一括表示されています。 ・工場出荷時に現在時刻、蓄冷熱開始時刻および蓄冷熱時間を設定してあります。 左記画面の設定内容は、 蓄冷熱開始時刻･･･22:00，蓄冷熱時間･･･10時間　です。 設定内容を確認してください。設定変更が必要ない場合は、以下の操作は不要です。
蓄冷熱時間／開始時刻の設定	設定 と ⊖ を同時に約2秒間押す		・蓄冷熱時間設定→蓄冷熱開始時刻設定（0～23時）の順で設定を行います。
蓄冷熱時間の設定	変更なし／変更あり→⊕または⊖／設定 蓄冷熱時間の確定		・蓄冷熱運転時間表示が点滅し、他の部分は消灯します。 ・⊕または⊖ボタンで希望する時間（幅）に合わせます。 ⊕ボタン：順送り，⊖ボタン：逆送り（ボタンを押し続けると早送りします。） 設定時間単位は　0～9.5時間：0.5時間単位 10～24時間：1時間単位 ・設定ボタンを押して、蓄冷熱時間を確定します
蓄冷熱開始時刻の設定	変更なし／変更あり→⊕または⊖／設定／繰り返し／変更なし／変更あり→⊕または⊖／設定／変更なし／変更あり→⊕または⊖／設定		・蓄冷熱運転開始時刻表示画面に、0時から23時までの全時刻が表示され、"0"が点滅します。 ・開始時刻の設定／解除 ・開始時刻の設定（［］マークを点灯させます。） 1. 設定ボタンを押して、設定したい時刻の数字を点滅させます。 2. ⊕ ボタンを押して、［］マークを点灯させます。 3. 設定ボタンを押して確定します。 ・開始時刻の解除（［］マークを消灯させます。） 1. 設定ボタンを押して、解除したい時刻の数字を点滅させます。 2. ⊖ ボタンを押して、［］マークを消灯させます。 3. 設定ボタンを押して確定します。 ・設定変更画面の終了 設定が完了しましたら、次のいずれかの操作で、運転画面に戻ります。 ・設定ボタンのみ何回か押して、点滅を"23"まで進めた後、設定ボタンを押します。 ・設定ボタンを約5秒以上押します。 （スイッチを押さずに１分間放置しておいても運転画面に戻ります。）
設定終了	設定／運転状態	 （運転画面）	・以上の操作で左記画面の設定 蓄冷熱開始時刻･･･23:00　，蓄冷熱時間･･･8.5時間　に変更しました。 **蓄冷熱運転の開始時刻は1日1回の設定としてください。** **（運転画面表示時に［］マーク付きの数字が一つだけ表示されているか確認してください。）**

運転についての注意

暖房運転について

●暖房開始時に風が出ない：冷風を出さないよう室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。
（ホットスタートといいます。）
●風速が設定どおりでない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
●リモコンに“霜取中”“暖房準備中”の表示中は冷風を出さないよう室内ファンをコントロールします。
●運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

使用温度範囲

●使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な事故の原因となります。

		室内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	—	-5℃～43℃
	湿球温度	15℃～24℃	—
暖房	乾球温度	15℃～27℃	—
	湿球温度	—	-15～15.5℃
送風・換気	乾球温度	—	—

※室内外共に使用可能な温度の目安は、相対湿度30～80%です。

風向について

●冷房運転及びドライ運転の時、下吹出しに設定しますと“1時間設定有効”が表示するときがあります。これは上下風向ベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露とびを防止するためです。繰り返しご使用されて、露つきなどが発生した場合は、水平吹出しに戻してください。この時“1時間設定有効”の表示は水平吹出しに戻しても約1分間表示を続けます。

長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。

●特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

躯体蓄熱中の換気について

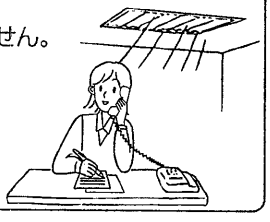
●躯体蓄熱中に換気すると蓄熱効率の低下だけでなく、冷房躯体蓄熱時は高温多湿な空気の侵入により天井面および床面で結露する恐れがあります。

上手な使い方

上手な使い方ー“フリープランシステム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

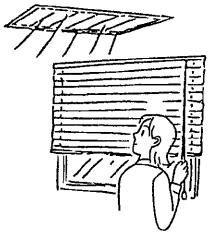
室内温度（室温）は最適に

●冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
●冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



中間期にはドライ運転を

●ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。

●ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じるときがあります。ドライ運転をご利用ください。

ドライ運転とは

●フリープランシステムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転・エレクトロニクスドライ運転（ドライ運転）を行います。

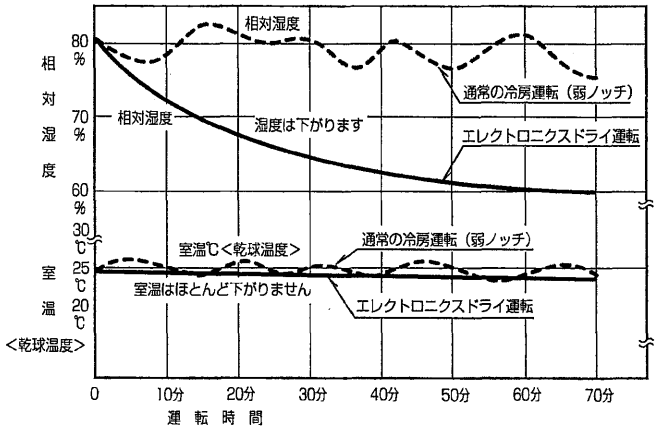
●ドライ運転では冷やし過ぎを抑え効率的な除湿を行うため、送風は弱ノッチ、設定温度になって10分間停止が続くと湿度を低く保つため、3分間の制御運転となります。

●室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

●室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行われ、リモコンでは設定できません。

●除湿効果例

[設定温度24℃、運転開始時温度24℃、湿度80%]



(1) 冷房負荷が小さいとき、通常のエアコンでは冷房（弱ノッチ）、ON・OFF運転（5分ON/5分OFF）を繰り返し、除湿効果はほとんど得られない。

(2) エレクトロニクスドライ運転では短時間で除湿効果を発揮します。

ときどき換気を

●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。

●送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。

●冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

送風運転

●送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

換気連動運転とは

●エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

フィルターの清掃を

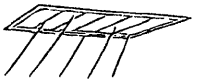
●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。

●フィルターは通常の環境では約2500時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。

●ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（11ページ参照）

室内の温度ムラ解消に風向調節を

●冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすような風向を調節してください。

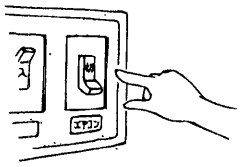


●暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

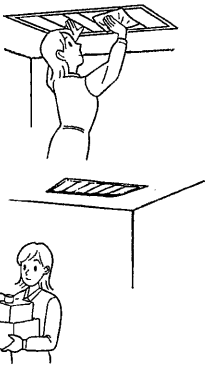
4. お手入れのしかた

お手入れの前に

■必ず、電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃



■やわらかい布でから拭きをしてください。

■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。
故障の原因になります。

■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フィルターの清掃

⚠注意

必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

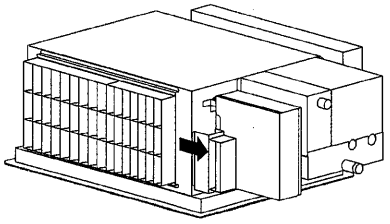
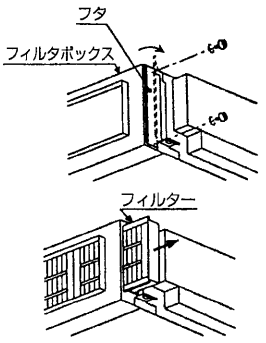
⚠注意

フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

⚠注意

フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

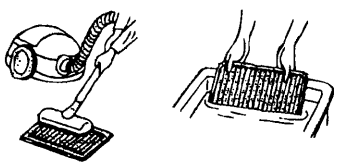
(1)フィルターを取外す。

PLFY-J·HMD-C-KT形	PEFY-J·M-C-KT形
 1. 矢印の方向へ引き抜いてください。フィルターは連結されて出てきます。	 弊社別売フィルターをご使用の場合は、別売フィルターの説明書を参照願います。 1.フィルタボックスのフタを閉めているネジ（2本）を外します。 2.フィルタボックス開口部よりフィルターを矢印の方向に引き抜いてください。

(2)フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。

■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

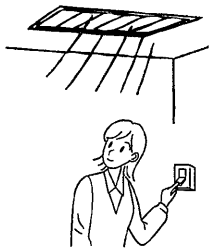
■フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4)フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

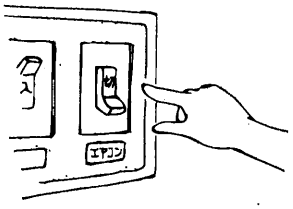
5. 長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



(2)室内ユニットの電源を切る。

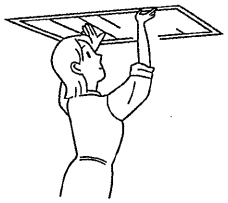


(3)<ワイヤレスリモコンの場合>
リモコンから乾電池を取り出す。

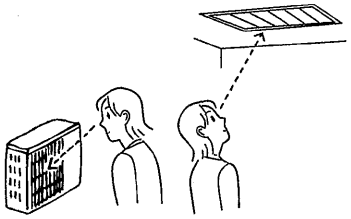
再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

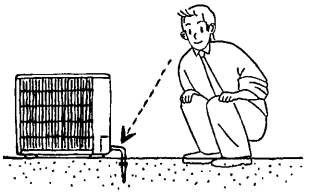
(1)フィルターを清掃して、取付ける。



(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



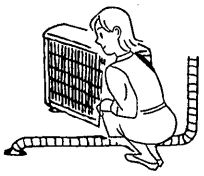
(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

6. 別売部品について

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。

室内ユニット用別売部品

PLFY-J･HMD-C-KT形

■高性能フィルター

■フィルターボックス

高性能フィルターを採用される場合は、フィルターボックスが必要です。
(ロングライフフィルター、ドレンアップメカは、標準装備となっています。)

PEFY-J･M-C-KT形

■ロングライフフィルター

■高性能フィルター

■フィルターボックス

■ドレンアップメカ

高性能フィルターを採用される場合は、フィルターボックスが必要です。

7. こんなときには・・・ Q&A

●動かない！

リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（◉）が点灯しません。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。	■集中コントローラ等で、操作を制限されている場合に表示します。 ■氷蓄熱機種・躯体蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。
躯体蓄熱用タイマーで設定した躯体蓄熱開始時刻になっても躯体蓄熱運転を行わない	■外気温度（室外ユニットの吸込み空気温度のセンサー値）が15℃以下の場合、冷房躯体蓄熱運転は行いません。 ■昼間、負荷の小さく空調時間が短い場合や、冷房と暖房運転が混在していた場合は、躯体蓄熱運転は行いません。

●勝手に動き出した！

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。 ■集中コントローラ等で、操作した場合に運転を開始しします。 ■躯体蓄熱機種で、タイマー設定された夜間蓄熱の開始時刻になると自動的に運転を開始します。 ■電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。 ■停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。 ※電源発停機能及び停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買上げ販売店にご相談ください。

●勝手に停止した！

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ■集中コントローラ等で、操作した場合に運転を停止します。 ■躯体蓄熱機種で、躯体蓄熱運転開始時には全室内ユニットが一旦停止します。その後約2分ほど経過すると、躯体蓄熱仕様の室内ユニットは躯体蓄熱運転を開始し、標準仕様の室内ユニットは停止したままになります。
室内ユニットと連動させていたロスナイが勝手に停止した。	■躯体蓄熱機種で、躯体蓄熱運転中は、室内ユニットと連動させているロスナイは運転を行いません。

●よく冷えない、暖まらない！

よく冷えない。よく暖まらない。	■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。 ■室内ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房（暖房）運転しない。	■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。 再運転をした場合は、冷房（暖房）運転するまで約3分間お待ちください。

●音がする！

水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。 異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
排水音やモータの回転音がする	■冷房運転停止後約3分間、ドレンアップメカを運転してから停止するためです。 ■運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転をしている場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し、排水を行うためです。 ※1時間に2～3回以上の場合、サービスをお申しつけください。

●水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。

●すぐに風が出てこない！

暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	■充分に暖かな風をおとどけするための準備中です。 リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのままお待ちください。

●暖房中運転、運転が止まる！

暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

●風向が勝手に変わる！

風向が途中で変わる。	■冷房運転中、下吹出しで使用しますと、ベーンが自動的に1時間後に水平吹出しになります。これは水滴が落下するのを防ぐためです。リモコンに“1時間のみ”が表示されます。 ■暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取り運転中は自動的に水平吹出しになります。異常ではありません。

●風向調節ベーンの動きについて

風向きを変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。	■風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。異常ではありません。

●リモコン設定および表示について

リモコンのタイマー運転がセットできない。	■スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“H0”の表示がでる。	■初期設定（約3分）を行っているためです。そのままお待ちください。 停電からの復帰時や室外ユニットまたは室外ユニットの電源を入切した場合など表示します。
リモコンにエラーコードが表示される。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
リモコンのタイマーで設定した開始時間になっているのに動かない。	■蓄熱運転の時間内に入タイマー運転を設定されていても指定した時刻に運転しません。蓄熱運転の終了時刻から少し時間をあけて（10分ぐらい）入タイマー運転の時刻を設定してください。

●温風が出る！

暖房サーモOFF時及び送風運転時に断続的に温風が出る。	■他の室内ユニットが暖房運転している場合、システムの安定性を保つために、制御弁を時々開閉するためです。 しばらくすると止まります。 ※小部屋等で室温が上昇して困る場合は、運転を停止してください。

8. 保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

下記は、以下のご使用条件の場合です。

①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）

③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

⑤頻繁な発停のある場所場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1．「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ（ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など）		20,000時間	バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為にお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●電気部品に絶対に水(洗浄水等)をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。

●補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

表-2．「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルタ		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒータ		8年
平滑コンデンサ		10年			

注1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為にお役立てください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について[保証期間は、お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●保証書はお買上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
●保証期間中、万一故障した時は、お買上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
●良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」及び定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
●エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

9. 移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
②据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
②次の場所への据付けは避けてください。

- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 酢（酢酸）を多量に使用するところ
- 油煙のたちこめるところ
- 海浜地区等塩分の多いところ
- 湿気の多い場所
- 温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- 高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
- 酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- 特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買上げの販売店にご確認ください。
④据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

①据え付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

10. 仕　様

●PLFY-J・HMD-C-KT形

項目＼形名		22	28	36	45	56	71
電源		単相 200V　50／60Hz					
冷房能力	(kW)	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6	7.1
暖房能力	(kW)	2.5	3.2	4.0	5.0	6.3	8.0
外形寸法	高さ (mm)	本体409／パネル8					
	幅 (mm)	本体844／パネル810			本体1384／パネル1350		
	奥行 (mm)	本体700／パネル570					
風量 強-中1-中2-弱	(m^3/min)	8.0-7.4-6.7-6.1	8.0-7.4-6.7-6.1	8.5-7.8-7.1-6.5	13.0-12.0-10.9-9.9	15.0-13.8-12.6-11.4	18.0-16.6-15.1-13.7
騒音値 強-中1-中2-弱	(dB)	41-39-37-34	41-39-37-34	43-41-39-36	40-38-36-34	42-39-37-35	45-43-41-38
製品質量 本体／パネル	(kg)	24／7.5		24.5／7.5	38／11.5		

●PEFY-J・M-C-KT形

項目＼形名		45	56	71	80	90	112	140	160
電源		単相 200V　50／60Hz							
冷房能力	(kW)	4.5	5.6	7.1	8.0	9.0	11.2	14.0	16.0
暖房能力	(kW)	5.0	6.3	8.0	9.0	10.0	12.5	16.0	18.0
外形寸法	高さ (mm)	380							
	幅 (mm)	750			1000		1200		
	奥行 (mm)	900							
風量 強-弱	(m^3/min)	14-10		19-13.5	22-15.5	25-18	38-26.5		40-28
騒音値 強-弱	(dB)	36-28	36-29	40-33		42-35	43-36		
製品質量	(kg)	44	45		50		70		

注　上記仕様は、標準機外静圧100Pa時の値です。
注　各表の騒音値はA特性です。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。	
お買上げ店名	電話
お買上げ(据付)日	年　月　日

三菱電機株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 冷熱システム製作所 (073)436-2111（代表）

WT03087X02